

元気な職場をつくる メンタルヘルス 2 (全2巻)

VIDEO・DVD

■各巻 44,000円 (税抜40,000円)

■2巻セット 88,000円 (税抜80,000円)

監修／山本晴義 (横浜労災病院 メンタルヘルスセンター長、医学博士)

1948年東京生まれ。1972年、東北大学医学部卒業。呉羽総合病院心療内科部長、梅田病院院長等を経て2001年より現職。他に文京学院大学講師、神奈川県立保健福祉大学講師、日本産業カウンセラー協会講師等。

主な著書に「ストレス一日決算主義」(NHK出版)、「メンタルヘルスマネジメント」(PHP研究所)、「ストレスチェックノート」(法研)などがある。

人事院規則や労働安全衛生法の改訂が行われ、平成18年より時間外労働の長さによって医師の面接が義務・努力義務となりました。その面接指導の際にはメンタルヘルス面にも配慮することとされています。またメンタルヘルスを語る中で避けて通れない“うつ”。“うつ”を防ぐ、或いは適切に対応することは、働く人にとっても組織にとっても最重要課題です。

厚生労働省の指針や手引きの解説を加え、職場におけるメンタルヘルス対策のポイントをわかりやすく解説したビデオ・DVDです。



① “うつ” を考える

“うつ”による休職・復職を経験した人の体験談を元に、どのようにすれば“うつ”を予防できるか、もし罹患した時どのような症状に気づいて、どのように対処すれば早期回復が可能なかを考えた教材です。

(24分)

<主な内容>

- “うつ”を発症するまで
- “うつ”の症状
- “うつ”の予防方法
- 早期治療と早期回復 など

全基連はこのビデオを推薦します。

- うつ体験者が、罹患から快復までを自ら振り返りながら、語り掛け、問い掛ける、他に類がない作品です。
- 種々の人事労務管理制度が、現場で設計どおり機能しているかを点検し改善するための教材としてお勧めします。

全基連(社団法人全国労働基準関係団体連合会)は、各都道府県労働基準協会連合会等を会員として、厚生労働省から受託した事業を実施するほか、人事労務管理関係図書を出版し、セミナーを開催するなどしている厚生労働省所管の公益法人です。

② 知っておきたい 過重労働対策

なぜ過重労働対策が必要なのか、医師による面接は何を目的にどのように行われるかなどをドラマ形式で分かりやすく展開します。

(23分)

<主な内容>

- 過重労働による労災認定例
- 労働安全衛生法の改正点
- 過重労働対策とは
- 医師による面接とは
- 面接を申請するまで
- 面接の実際 など

